2025 年度　授業コード：23101100

授業科目	＊病理基礎医学					実務家教員担当科目	○
単位	2	履修	必修	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	髙﨑　智子						
授業概要	実務家教員として、長年病院に勤務した医師としての臨床経験を活かし、授業を行う。 ヒトの疾病の本質を理解するため、まず疾病に共通する総括的問題、すなわち病因、細胞・組織の傷害と修復、炎症・感染・免疫、循環障害、染色体・遺伝子異常、腫瘍、動脈硬化、代謝異常等について、横断的に学ぶ。次いで個別臓器疾患の病理学的所見と臨床症状の関係を学ぶ。						
授業形態	対面授業			授業方法			

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1.　細胞・組織の傷害とその修復について説明できる。(DP2-1) 2.　炎症、感染、免疫、循環障害、腫瘍、代謝異常などの病理学の基本概念を説明できる。(DP2-1) 3.　ヒトの各臓器の主な疾病とその症状・病理について説明できる。(DP3-1) 4.　チーム医療を担う医療人としての基礎的能力を習得し、医療倫理について説明できる。(DP4-2)
理想的レベル	病理学および臨床医学の基礎を理解した上で、それぞれの病態に対応した栄養指導、栄養治療の基本となる考え方について説明できる。(DP1-2、DP4-2)

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	80%	
小テスト	10%	
レポート	0	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	0	
その他	10%	授業に主体的に参加する、疑問点を質問する、などの授業態度

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	DP2	DP3	DP4	ナンバリング
○	○	○	-	NT11205J

学習課題（予習・復習）	1 回の目安時間（時間）
復習：配布したプリントおよび小テストの内容を整理し、理解する。	4

授業計画

第 1 回	テーマ：病理学とはなにか？ －病気、老化、死と病理学 病理学の概説、老化と死について解説する。
第 2 回	テーマ：細胞傷害と病理 細胞の変性、壊死について解説する。
第 3 回	テーマ：炎症と病理 炎症の概念、原因、構成細胞、および急性炎症と慢性炎症のちがいについて解説する。
第 4 回	テーマ：免疫と病理１ 免疫の仕組み、抗体の構造と役割について解説する。

第 5 回	テーマ：免疫と病理２ アレルギー反応、自己免疫疾患、臓器移植における免疫応答について解説する。
第 6 回	テーマ：感染症と病理 種々の病原微生物とそれによっておこる感染症について解説する。
第 7 回	テーマ：循環障害と病理 循環器系や浸透圧の仕組み、および出血や梗塞等の循環障害について解説する。
第 8 回	テーマ：先天異常・遺伝性疾患と病理 遺伝およびその異常である遺伝子病について解説する。
第 9 回	テーマ：環境因子・栄養と病理 環境因子と栄養障害でおこる疾病およびその病態について解説する。
第 10 回	テーマ：腫瘍と病理 腫瘍の原因、機序、種類、治療の考え方について解説する。
第 11 回	テーマ：生活習慣病と病理１ 生活習慣病の概念、肥満、メタボリックシンドロームについて解説する。
第 12 回	テーマ：生活習慣病と病理２ 生活習慣病の合併症、特に動脈硬化性疾患について解説する。
第 13 回	テーマ：難治性炎症性疾患と病理 全身性エリテマトーデス、関節リウマチなどの難治性炎症性疾患について解説する。
第 14 回	テーマ：老年症候群と病理 アルツハイマー病などの認知症を中心とした老年症候群について解説する。
第 15 回	テーマ：まとめ 後期授業のまとめを行う。
テキスト	「はじめの一歩の病理学　第 2 版」　深山正久 編　（羊土社） 毎回、スライド内容をプリントして配付する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書： 「なるほどなっとく！病理学 plus」　小林正伸 著　（南山堂） 「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学 疾病の成り立ち 第 3 版」　田中明、藤岡由夫 編（羊土社） 「臨床医学　人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」　羽生大記、河手久弥 編　（南江堂）
課題に対するフィードバックの方法	毎回の授業終了時に実施する小テストは、採点の上、次回の授業時に返却し、解答例を提示して解説する。
学生へのメッセージ・コメント	疾病による体の変化を理解するために、人体の解剖･生理の基本を理解しておくことが重要である。また、疾病が栄養とどのように関わっているかを理解するために、生化学に関する基礎知識も必要である。 以下の姿勢を持って、自ら学びを深めていただきたい。 １．授業で配布されたプリント資料に、大事な内容をメモし、ノートとして利用する。 ２．教科書やプリント資料からサブノートを作る。 ３．疑問点を図書館やインターネットで調べる。